

(2) 梅毒の発生状況(図 5 及び 6 参照)

平成 23 年以降増加のみられた全国の梅毒報告数について、令和 3 年以降顕著に増加がみられている。これを踏まえ、鳥取県における過去 10 年の年別報告数の推移、年齢別報告数についてまとめた。

ア 年別報告数の推移

全国の梅毒報告数は令和 3 年以降急増しており、令和 5 年の報告数は 15,055 件であった。鳥取県においては、令和 2 年までは増加していたが、令和 3 年、4 年は届出数が減少し、令和 5 年は再び増加した。

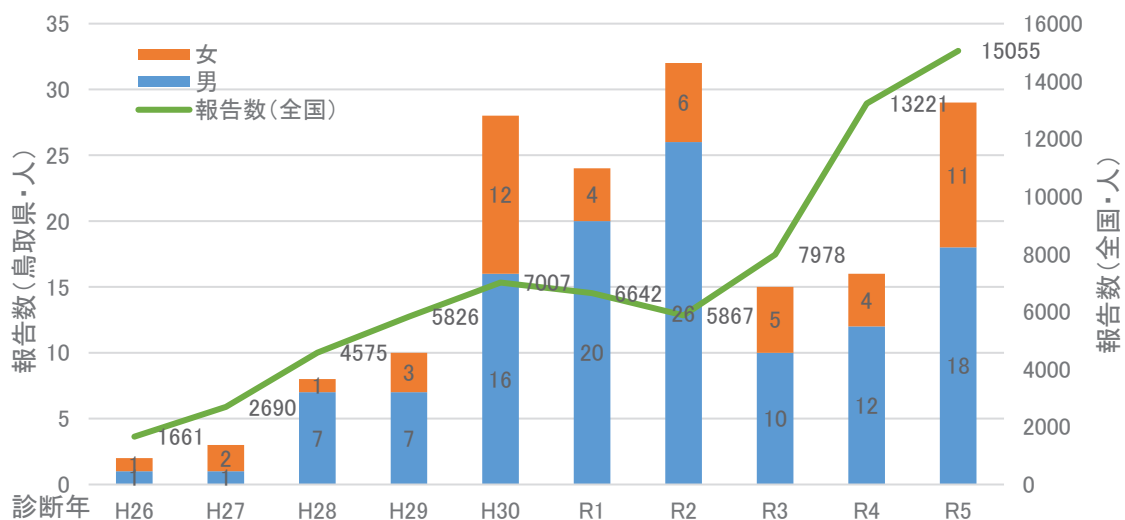


図 5 全国及び鳥取県内の梅毒年別報告数の推移

イ 年齢別報告数(令和 5 年)

男性では 20 代から 70 歳以上まで全ての年齢層で報告があったが、女性では 70 代以上の報告はなかった。男性は 30 代での報告が多く、次いで 40 代、60 代、70 歳以上の報告であった。女性は 20 代での報告が多く、次いで 30 代であった。

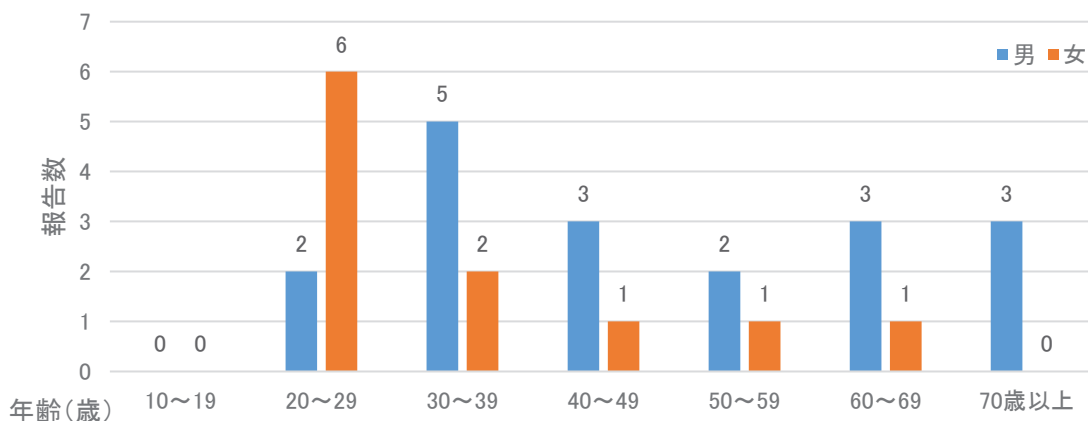


図 6 令和 5 年の鳥取県内の年齢別・性別報告数